



# そよかせ

2学期の終業式を迎え、今年も残りわずかとなりました。手洗いやうがいをしっかりとし、基本的な生活習慣を崩さないようにしながら、元気に新年を迎えられるようにしたいですね。

## 副籍交流「間接交流」の御紹介

副籍交流の活動内容は様々で、本校の児童・生徒が地域指定校にて授業や行事に参加する「直接交流」だけでなく、「間接交流」に取り組んでいる児童生徒もいます。

間接交流では、双方の学校だよりや行事案内を交換したり、本校児童生徒の自己紹介シートや学校生活を紹介する通信を副籍を置く学級に掲示したりしています。

また、2学期から3学期にかけては、地域指定校で行われる作品展に、本校の授業で制作した美術作品を出展する取り組みも行っています。「とってもきれいに作っていて、上手だと思いました。」「〇〇さんは、自分オリジナルの物を作っていた」など、地域指定校の児童・生徒が作品を見て感想を寄せてくれることもあります。



## 理解推進授業について

副籍交流を行うにあたり、地域指定校の児童・生徒が本校児童・生徒への理解を深めるために、出前授業での理解推進授業を行っています。御要望をいただいた学校に対しては、副籍を置いているクラスだけでなく、体育館などに集まり学年全体に向けて授業をしたり、同学年の全クラスに1時間ずつ授業を行うこともあります。直接顔を合わせてお話しすることで、児童・生徒だけでなく担任や管理職の先生方も多くのことを感じてくださっているようです。授業後の児童生徒からは、「自分に合ったペースで勉強できて、うらやましいなと思った。」「同じような勉強もしているし、違う勉強もしているんだな、ということが分かった。」「今度会うときには、大きな声でびっくりさせないように気を付けたい。」などの感想が聞かれました。先生方からは、「副籍交流をしているクラスや学年だけでなく、他の学年に対しての授業もできますか?」とお声掛けいただくこともあります。

交流の形態は様々ですが、今後も『お互いの「顔が見える」交流』を目指していきます。

御相談は、電話 042-384-6881

特別支援教育コーディネーターまでお気軽にお問合せください。